

平成29年度事業報告

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

平成29年 4月 28日	通常総会開催
5月20日	原田校区福祉委員会ふれ愛ひろば参加
6月15日	「後援会だより」第30号発行
10月19日	吉田理事長との懇談会
10月28日	素のままフェスタ参加
10月29日	泉丘公民分館文化祭参加(織り体験他)
12月2・3日	原田公民分館展示会参加(自主製品展示)
12月15日	「後援会だより」第31号発行
平成30年 3月 3日	ボランティアフェスティバル参加

定例役員会 18回

なかまの店11回

みらい文化祭・庄内まつり

販売活動

平成30年度事業計画

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

平成30年 4月	通常総会開催
5月	原田校区福祉委員会ふれ愛ひろば参加
6月	「後援会だより」第32号発行
6月	素のままフェスタ参加
10月	泉丘公民分館文化祭参加
12月	「後援会だより」第33号発行
12月	原田公民分館展示会参加
平成31年 2月	ボランティアフェスティバル参加

毎月：定例役員会

その他：PR活動 物品販売

平成29年度会計収支計算書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

単位：円

収入の部			支出の部		
費目	金額	摘要	費目	金額	摘要
前年度繰越金	35,429,315		事務費	6,950	封筒・コピー紙
正会費	5,315,000	月5千円	通信費	13,472	切手・はがき
賛助会費	225,000	団体1社・個人68名	印刷費	49,819	「後援会だより」発行他
販売収入	300,000	物品販売・バザー	事業費	175,070	ふれ愛ひろば・クリスマスプレゼント カレンダー・なかまの店店番料・その他
諸収入	46,534	寄付・募金箱	雑費	17,806	残高証明他
受取利息	84		振込手数料	2,650	
			寄付	2,737,500	
				〔1,537,500〕	法人借入金返済
				〔1,200,000〕	ショートステイ整備事業
			次年度繰越金	38,312,666	
合計	41,315,933		合計	41,315,933	

平成30年度会計予算

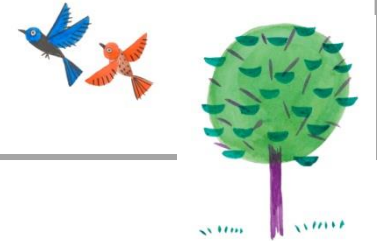
(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

単位：円

収入の部			支出の部		
費目	金額	摘要	費目	金額	摘要
前年度繰越金	38,312,666		事務費	20,000	封筒・コピー紙
正会費	5,400,000	月5千円 90名	通信費	20,000	切手・はがき
賛助会費	220,000	団体・個人	印刷費	60,000	「後援会だより」発行他
販売収入	100,000	物品販売・バザー	事業費	250,000	ふれ愛ひろば・クリスマスプレゼント カレンダー・なかまの店店番料
諸収入	20,000	寄付	雑費	30,000	
受取利息	100		振込手数料	5,000	
			寄付	2,730,000	
				〔1,530,000〕	法人借入金返済
				〔1,200,000〕	ショートステイ整備事業
			事業援助積立金	40,500,000	
			予備費	437,766	
合計	44,052,766		合計	44,052,766	

平成30年度 豊中親和会後援会役員

会長	長島 恭子	幹事	遠山 琴枝	監査	村山 三代
副会長	尾上 玲子		石外 好子		(原田校区福祉委員会)
	石橋 志津子		田中 百合子		石井 栄子
	(原田校区福祉委員会)		上畠 真美子	顧問	名迫 弘
	雑賀 正子	参与	石橋 志津子(兼)		前川 満枝
書記	菱谷 啓子		中井 孝子		
	高本 由美		(豊中市手をつなぐ育成会)		
会計	岡本 寿嘉子				
	田中 栄子				



社会福祉法人豊中親和会各事業所報告

総会終了後、各事業所の管理者より次のような報告がありました。

◎多機能型事業所みらい

《生活介護利用者の集中力が低下してきた為、B型利用者と内職仕事をシェアしています。》

生活介護(定員 20名)

・利用者 男性 16名 女性 6名 計 22名 年齢 20歳代～60歳代

就労継続B型(定員 20名)

・利用者 男性 12名 女性 10名 計 22名 年齢 10歳代～50歳代

◎生活介護事業所第2みらい(定員 46名)

《通所バスが4月24日より新車になりました。利用者の混乱を避けるため、外見はあまり変えていませんが、内装は変わっています。》

・利用者 男性 31名 女性 14名 計 45名 年齢 20歳代～50歳代

◎支援センターみらい

グループホーム ・利用者 男性 23名 女性 13名 計 36名 年齢 20歳代～60歳代

短期入所 ・登録者数 13名

相談支援センター

・利用者実数 619名 ・計画相談契約数 成人 146名 児童 2名

・相談支援延べ件数 1,159回

あしすと

・利用登録者数 移動支援 79名 居宅介護 31名

・月平均利用延人数 移動支援 129名 居宅介護 86名

・ヘルパー数 47名(男性 14名・女性 33名 内、法人職員の登録男性 4名・女性 3名)

この他、各事業所の職員数や今年度方針など、日頃聞くことができないような内容もお話しいただいて、とても好評でした。来年の総会時にもこんな機会がくれたらと思います。

支援センターみらい

昨年、10月よりグループホームみらい内でショートステイ(短期入所)を開始しました。徐々にではありますが、ご契約、ご利用いただける方が増えて来ており、ありがたく思っております。今回は、これからご利用をお考えの皆様にショートステイについてご案内させていただきます。詳細については下記連絡先までよりしくお願いいたします。

《グループホームみらいショートステイについて》

- ①住所・連絡先 豊中市原田中1丁目14番20号 (06)6853-2400
- ②担当者 中村・中島
- ③開所日 月～金(祝日除く)16:30～9:00 (予約・問合せ電話連絡は9:00～17:30)
- ④費用
 - (1)利用料(利用者負担額):2000円以内(一泊)
*障害支援区分、各種利用条件で変動があります。
 - (2)食費:朝食 200円 夕食 550円
 - (3)光熱水費:600円(1泊2日)
 - (4)その他でかかった費用については実費負担をお願いします。

◎ 利用前にしていただく事

- ①見学 ②面談 ③利用契約



1階リビング・ダイニング(原田ホームと共用)



個室の様子



夕食の一例

利用された方の感想

- ・ごはんがおいしかった。
- ・楽しかった。
- ・朝ごはんの時、好きな飲み物(紅茶、オレンジジュース、ココア等)が選べてうれしかった。私はコーヒーを飲みました。

国においては、財政健全化目標の一つに、国及び地方財政の基礎的な収支を2020年度までに黒字化したいということがあります。社会保障費もその例外ではありません。これらの背景のもとで、「制度の持続可能性」や「適切なサービスの確保」という観点のもとで報酬改定が行われています。

今後は利用者負担の在り方の見直しや不適切なサービスの在り方について、厳しく問われてくるかもしれないと思っています。また同時にサービスの質もより高いものが求められていくものと考えています。

今回の改定の在り方の中に、法人の今後における様々な課題が提示されていますので、それらの課題への対応をはじめ、より適切かつ効率的な支援に努めていかねばなりません。

先ほど申し上げましたように、30年度は若干の黒字予算でのスタートとなりましたが、引き続き厳しい予算でのスタートとなっており、支出の節減と収入の確保については今後とも努めていかねばならないと思っています。

支援センターでは昨年度にホームでのスプリンクラー設備の設置が終わっておりますが、利用者、ご家族の皆さんにはご協力を頂きありがとうございました。

みらいでは、前回に続いての第三者評価を受審し、開かれた施設づくりに取り組んでまいります。

また第2みらいでは、大規模改修の検討を行いますが、補助金対象となるかどうかで、実施時期が変わります。柔軟な姿勢で臨みたいと考えています。

また利用者満足度調査ならびに職員意識調査を改めて実施し、現況把握と共に課題の明確化に努めてまいりたいと考えていますので、その際にはご協力をよろしくお願いします。

人事異動等につきましては、榊川さんが定年を迎えることとなりましたが、引き続き嘱託としてみらい管理者を担当してもらうことと致しました。正規職員は2名採用、みらいから支援センターへ1名異動となりました。一部の事業所では職員が充足していない状況がありますが、引き続き職員の確保に努めてまいります。

最後になりましたが、後援会の皆様におかれましては、今後とものご支援をお願い申し上げますと共に、本日お集まりの皆様のご健勝をお祈りし、簡単ではございますが、挨拶いたします。

新会長挨拶

豊中親和会後援会 会長 長島 恭子

この度、会長を務めさせていただくことになりました長島でございます。

これまで前川前会長のもとで後援会役員をさせていただき、様々なことを学ぶことができました。

中でも、前会長のいろいろな方の声に耳を傾け、共に考え行動されるという姿勢に感銘を受けました。

そんな前会長のあとを受けて、会長の大役を務めさせていただくには、私はまだまだ力不足でございますので、顧問の名迫元会長、前川前会長にご助言をいただき、役員の方々に力添えをしていただいで活動してまいりたいと思います。

後援会の会員の方は、年齢・家族構成・思いなどそれぞれ違います。

これからも、そのお一人おひとりの声に耳を傾け、共通の願いである『親亡き後の子らの安心できる暮らし』の後押しができる後援会でありたいと思います。

会員の皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

